

学年・巻	該当ページ番号	内容	分類番号
あたらしい さんすう 1①	p.30	あといくつで10になるかな	3
	p.9	たしざんの れんしゅう①	3
	p.18	ひぎざんの れんしゅう①	3
あたらしい さんすう 1②	p.33	かずだけいろをぬろう	4
	p.48	なんじかな なんじはんかな	3
	p.67	たしざんの れんしゅう②	3
	p.83	ひぎざんの れんしゅう②	3
	p.109	なんじなぶんかな	3
	p.120	かたちをつくろう	1
新しい算数 2上	p.9	グラフをかこう	4
	p.46~47	直線のひき方をしろう	2
	p.56	数をあらわそう	3
	p.81	時ごとと時間をあらわそう	3
新しい算数 2下	p.104	形を作ろう	1
	p.26	九九の れんしゅうをしよう	3
	p.39	九九の きまりを みつけよう	1
	p.43	チョコレートの数を もとめよう	1
新しい算数 3上	p.56	数をあらわそう	3
	p.15	12×4の答えをもとめよう	1
	p.29	時ごとと時間をもとめよう	3
	p.35	1人分の数を調べよう	1
新しい算数 3下	p.39	何人に分けられるか調べよう	1
	p.80	わり算の練習をしよう	3
	p.86	数の大きさを考えよう	3
	p.124	円のかき方をしろう	2
新しい算数 3下	p.128	球の切り口の形や大きさを調べよう	1
	p.134	かたちであそぼう(タンگرام)	1
	p.12	小数のたし算とひき算を練習しよう	3
	p.26	はかりのしくみを調べよう	3

学年・巻	該当ページ番号	内容	分類番号
新しい算数 3下	p.79	円を使って三角形をかこう	1
	p.95	ぼうグラフをかこう	4
	p.105	そろばんを使ってみよう	3
	p.116	かたちであそぼう(ペンタミノ)	1
	p.24	折れ線グラフをかこう	4
	p.58	角度をつくろう	1
新しい算数 4上	p.60	分度器の使い方をしろう	2
	p.63	角度の求め方を考えよう①	1
	p.65	角度の求め方を考えよう②	1
	p.68	分度器を使って角や三角形をかこう	2
	p.85	小数のたし算を練習しよう	3
	p.87	小数のひき算を練習しよう	3
新しい算数 4下	p.94	そろばんを使ってみよう	3
	p.6	計算練習をしよう	3
	p.7	●の数の求め方を考えよう①	1
	p.9	●の数の求め方を考えよう②	1
	p.20	垂直な直線のひき方をしろう	2
	p.26	平行な直線のひき方をしろう	2
新しい算数 5上	p.69	面積の求め方を考えよう	1
	p.109	直方体や立方体を調べよう	1
	p.110	展開図をつくろう	1
	p.115	見取り図のかき方をしろう	2
	p.130	かたちであそぼう(デジタル数字)	1
	p.21	体積の求め方を考えよう	1
新しい算数 5下	p.33	体積の変わり方を調べよう	1
	p.46	小数のかけ算を練習しよう	3
	p.58	小数のわり算を練習しよう	3
	p.78	合同な三角形のかき方を確認しよう	2
	p.87	四角形の角の大きさの和を求めよう	1
	p.126	倍数や公倍数を求めよう	4
p.127	かたちであそぼう(ブロック遊び)	1	

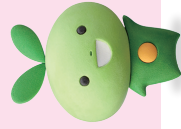
学年・巻	該当ページ番号	内容	分類番号
新しい算数 5下	p.13	分数のたし算やひき算を練習しよう	3
	p.39	速さの問題にちよう解しよう	3
	p.45	平行四辺形の面積の求め方を考えよう	1
	p.51	三角形の面積の求め方を考えよう	1
	p.57	台形の面積の求め方を考えよう	1
	p.77	割合の問題にちよう解しよう	3
	p.88	帯グラフや円グラフをかこう	4
	p.94	なるほど統計学園(外部サイト)	4
	p.95	棒の数の変わり方を調べよう	1
	p.106	直径の長さや円周の長さの関係を調べよう	2
新しい算数 6	p.116	立体の形を調べよう	1
	p.134	多角形をかこう	4
	p.135	かたちであそぼう(しきつめもよう)	1
	p.10	線対称な図形を調べよう	1
	p.14	点対称な図形を調べよう	1
	p.65	計算練習をしよう	3
	p.96	拡大図のかき方を確認しよう	2
	p.108	円の面積の公式をつくろう	1
	p.111	面積の求め方を考えよう	1
	p.180	ドットプロットに表そう	4
新しい算数 6	p.184	柱状グラフ(ヒストグラム)をかこう	4
	p.191	なるほど統計学園(外部サイト)	4
	p.243	中央値を求めよう	4
	p.243	平均値を求めよう	4
	p.243	最頻値を求めよう	4

分類番号

- 1 数学的活動の支援
- 2 学習効果の向上
- 3 基礎・基本の定着、つまづきへの対応
- 4 統計、プログラミング教育

2年度用 新しい算数  
観点別  
特色一覧表

2教 内容解説資料①  
東京書籍



目次

(1) 教育基本法(第2条)との関連

- 1 第1号 ..... 2
- 2 第2号 ..... 2
- 3 第3号 ..... 2
- 4 第4号 ..... 2
- 5 第5号 ..... 3

(2) 教育課程および学習指導要領への対応

- 1 算数科の目標 ..... 3
- 2 指導計画の作成と内容の取扱い ..... 9

(3) 教科書の構成上の配慮と工夫

- 1 内容の程度 ..... 11
- 2 内容の組織・配列 ..... 12
- 3 分量や時間 ..... 12
- 4 教材・場面 ..... 12
- 5 表記・表現と絵図や写真 ..... 13
- 6 すべての児童が使いやすい紙面への配慮 ..... 13
- 7 今日的課題への取り組み ..... 14

この資料は、2年度小学校教科書の内容解説資料として、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則っております。

## (1) 教育基本法（第2条）との関連

項目	観 点	特 色	具 体 例
1 第1号	①幅広い知識と教養を身に付けるための工夫がなされているか。 ②真理を求めめる態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うための工夫がなされているか。	①日常生活や実社会の場面と算数の学習を積極的に関連づけ、幅広い知識と教養を身に付けられるように工夫しています。 ②問題解決型の学習を重視した紙面展開を徹底し、真理を追究する態度を養ったり、協働的な学習を通して道徳心を培ったりしています。	●すべての学年において、児童の日常生活を中心に多方面から素材を収集し、それらについての議論を通して <b>学びに向かう意欲を高め、学習課題を創出する「単元プロログ」を設定</b> するなどして、幅広い知識と教養をいっそう身に付けやすくなるようにしました。 ○1年②26/2上8/3上120/4上74/5上72/6年92 ほか ●2年以上の上巻巻頭に、問題解決型の <b>学習の仕方や大切な視点を確認し、主体的・対話的な学びを体験する授業開きのページ「学びのとびら」を設定し、真理を追究する態度や学び合いの中での道徳心の大切さに着目</b> できるようにしました。 ○2上2～5/3上2～5/4上2～5/5上2～5/6年2～5 ●2年以上の各巻に、 <b>問題解決型の学習過程をいっそう顕在化させたページ「今日の深い学び」を学年3箇所（2年は1箇所）設定し、主体的、かつ協働的に真理を追究することができるように</b> するとともに、学習の過程における話し合いや学び合いを通して道徳心を培うことができました。 ○2下43～47/3上15～19, 下13～17, 79～83/4上63～67, 下7～11, 69～73/5上21～25, 87～91, 下95～99/6年63～67, 111～115, 147～151 ●2学年以上の各巻巻末に、個の学習意欲やつまづきなど、 <b>必要に応じて自主的に取り組む際に用いるオプショナル教材として「はじゅうの問題」「おもしろ問題にチャレンジ」「ふりかえりコーナー」などを設定し、個人の価値を尊重しながら能力を伸ばせるように</b> しました。 ○2上117～131/3上133～151/4上137～155/5上125～151/6年241～275 ● <b>キャリア教育とも関連づけながら、集団の中での自身の役割を自覚できる活動や、職業に就いた自分の姿を想像しながら解決する問題等</b> を設定しました。 ○2上49, 下71/3上28～30/4上74, 119, 128, 下2/5下84～85, 92/6年164～165, 193, 196～197 ほか ● <b>全学年にわたり、男女の区別なくそれぞれの考えの妥当性を考察する場面や、他者と協働して行う活動などを数多く取り上げ、常に公平、公正な立場で他者と接する態度が身に付くように</b> しました。 ●授業の際の規律として、 <b>自立的に学ぶ段階、他者との協働で学ぶ段階、および各段階での着眼点等を、特に2学年以上の上巻巻頭「学びのとびら」や、学年3箇所設定した「今日の深い学び」において例示し、授業における学び方を理解できるように</b> することで、公共の精神に基づき主体的に社会の形成に参画する態度を養うことができるとともにしました。 「学びのとびら」…○2上2～5/3上2～5/4上2～5/5上2～5/6年2～5 「今日の深い学び」…○2下43～47/3上15～19, 下13～17, 79～83/4上63～67, 下7～11, 69～73/5上21～25, 87～91, 下95～99/6年63～67, 111～115, 147～151 ● <b>動植物や環境、安全に関する場面を設け、環境や生命を意識できるようにし、自他の生命を尊重する心が育つ</b> ようにしました。 ○1年①5, 14～15, ②2～7, 11, 14～17, 21～22, 24, 26/2上11, 36～37, 下18/3上41, 45, 下30～31, 74, 90/4上112, 114, 下105, 122/5上47, 下37～38, 40～41, 77/6年8, 89, 216 ほか ● <b>学校や公園、社会生活などの学習場面（1年）、計量や九九の歴史（2年）、単位やそるばんの歴史、用語に使用されている漢字の意味（3年）、国内や諸外国のデータ（4年）、国内の世界遺産や日本を訪れる外国人のデータ（5年）、外国の計算方法や数字の読み方、和算（6年）</b> などを取り上げ、伝統文化に触れたり、郷土愛はぐくんんだり、国際社会について考えたりすることができるようになりました。 ○1年①3～7, 14～15, ②11, 24, 48/2上49, 下38/3上66, 130, 下105～107/4上8～9, 13, 20～26/5上122～123, 下77/6年90～91, 128～129, 131～132, 152, 232～237 ほか
2 第2号	①個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、自主及び自律の精神を養うための工夫がなされているか。 ②職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うための工夫がなされているか。	①多様な個に応じた教材を多く掲載し、自主的に取り組むことを促すことで、それぞれの能力を伸ばすとともに、自主及び自律の精神を養えるように工夫しています。 ②多様な生き方や職業に関連した素材を採用し、算数科の学習を通して勤労を重んずる態度を養うことができるとともに工夫しています。	● <b>キャリア教育とも関連づけながら、集団の中での自身の役割を自覚できる活動や、職業に就いた自分の姿を想像しながら解決する問題等</b> を設定しました。 ○2上49, 下71/3上28～30/4上74, 119, 128, 下2/5下84～85, 92/6年164～165, 193, 196～197 ほか ● <b>全学年にわたり、男女の区別なくそれぞれの考えの妥当性を考察する場面や、他者と協働して行う活動などを数多く取り上げ、常に公平、公正な立場で他者と接する態度が身に付くように</b> しました。 ●授業の際の規律として、 <b>自立的に学ぶ段階、他者との協働で学ぶ段階、および各段階での着眼点等を、特に2学年以上の上巻巻頭「学びのとびら」や、学年3箇所設定した「今日の深い学び」において例示し、授業における学び方を理解できるように</b> することで、公共の精神に基づき主体的に社会の形成に参画する態度を養うことができるとともにしました。 「学びのとびら」…○2上2～5/3上2～5/4上2～5/5上2～5/6年2～5 「今日の深い学び」…○2下43～47/3上15～19, 下13～17, 79～83/4上63～67, 下7～11, 69～73/5上21～25, 87～91, 下95～99/6年63～67, 111～115, 147～151 ● <b>動植物や環境、安全に関する場面を設け、環境や生命を意識できるようにし、自他の生命を尊重する心が育つ</b> ようにしました。 ○1年①5, 14～15, ②2～7, 11, 14～17, 21～22, 24, 26/2上11, 36～37, 下18/3上41, 45, 下30～31, 74, 90/4上112, 114, 下105, 122/5上47, 下37～38, 40～41, 77/6年8, 89, 216 ほか ● <b>学校や公園、社会生活などの学習場面（1年）、計量や九九の歴史（2年）、単位やそるばんの歴史、用語に使用されている漢字の意味（3年）、国内や諸外国のデータ（4年）、国内の世界遺産や日本を訪れる外国人のデータ（5年）、外国の計算方法や数字の読み方、和算（6年）</b> などを取り上げ、伝統文化に触れたり、郷土愛はぐくんんだり、国際社会について考えたりすることができるようになりました。 ○1年①3～7, 14～15, ②11, 24, 48/2上49, 下38/3上66, 130, 下105～107/4上8～9, 13, 20～26/5上122～123, 下77/6年90～91, 128～129, 131～132, 152, 232～237 ほか
3 第3号	①正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずることができるとともに、自主及び自律の工夫がなされているか。 ②公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うための工夫がなされているか。	①対話や協働的な学習の場面においては、男女の区別なく登場人物を取り上げるようにし、自他の敬愛と協力や男女の平等を重んずることができるとともに工夫しています。 ②授業における問題解決の段階および各段階での着眼点やとるべき態度を例示したページを設定し、公共の精神に基づき主体的に社会の形成に参画する態度を養うことができるように工夫しています。	● <b>動植物や環境、安全に関する場面を設け、環境や生命を意識できるようにし、自他の生命を尊重する心が育つ</b> ようにしました。 ○1年①5, 14～15, ②2～7, 11, 14～17, 21～22, 24, 26/2上11, 36～37, 下18/3上41, 45, 下30～31, 74, 90/4上112, 114, 下105, 122/5上47, 下37～38, 40～41, 77/6年8, 89, 216 ほか ● <b>学校や公園、社会生活などの学習場面（1年）、計量や九九の歴史（2年）、単位やそるばんの歴史、用語に使用されている漢字の意味（3年）、国内や諸外国のデータ（4年）、国内の世界遺産や日本を訪れる外国人のデータ（5年）、外国の計算方法や数字の読み方、和算（6年）</b> などを取り上げ、伝統文化に触れたり、郷土愛はぐくんんだり、国際社会について考えたりすることができるようになりました。 ○1年①3～7, 14～15, ②11, 24, 48/2上49, 下38/3上66, 130, 下105～107/4上8～9, 13, 20～26/5上122～123, 下77/6年90～91, 128～129, 131～132, 152, 232～237 ほか
4 第4号	①生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うための工夫がなされているか。	①生命や自然に関連する素材を採用し、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことができるように工夫しています。	● <b>動植物や環境、安全に関する場面を設け、環境や生命を意識できるようにし、自他の生命を尊重する心が育つ</b> ようにしました。 ○1年①5, 14～15, ②2～7, 11, 14～17, 21～22, 24, 26/2上11, 36～37, 下18/3上41, 45, 下30～31, 74, 90/4上112, 114, 下105, 122/5上47, 下37～38, 40～41, 77/6年8, 89, 216 ほか ● <b>学校や公園、社会生活などの学習場面（1年）、計量や九九の歴史（2年）、単位やそるばんの歴史、用語に使用されている漢字の意味（3年）、国内や諸外国のデータ（4年）、国内の世界遺産や日本を訪れる外国人のデータ（5年）、外国の計算方法や数字の読み方、和算（6年）</b> などを取り上げ、伝統文化に触れたり、郷土愛はぐくんんだり、国際社会について考えたりすることができるようになりました。 ○1年①3～7, 14～15, ②11, 24, 48/2上49, 下38/3上66, 130, 下105～107/4上8～9, 13, 20～26/5上122～123, 下77/6年90～91, 128～129, 131～132, 152, 232～237 ほか
5 第5号	①伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うための工夫がなされているか。	①発達段階に配慮しながら、郷土や国際社会等に関連する素材を採用し、郷土愛や国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるように工夫しています。	● <b>学校や公園、社会生活などの学習場面（1年）、計量や九九の歴史（2年）、単位やそるばんの歴史、用語に使用されている漢字の意味（3年）、国内や諸外国のデータ（4年）、国内の世界遺産や日本を訪れる外国人のデータ（5年）、外国の計算方法や数字の読み方、和算（6年）</b> などを取り上げ、伝統文化に触れたり、郷土愛はぐくんんだり、国際社会について考えたりすることができるようになりました。 ○1年①3～7, 14～15, ②11, 24, 48/2上49, 下38/3上66, 130, 下105～107/4上8～9, 13, 20～26/5上122～123, 下77/6年90～91, 128～129, 131～132, 152, 232～237 ほか

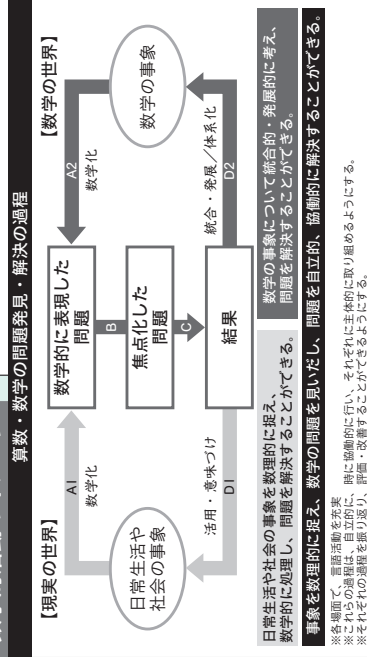
## (2) 教育課程および学習指導要領への対応

項目	観 点	特 色	具 体 例
1 算数科の目標	①数学的な見方・考え方を働かせた学びを実現し、数学的に考える資質・能力を育むための工夫がなされているか。	①学習のゴール（各時の学習のまとめ、単元末、6学年最終単元）において、働かせた数学的な見方・考え方を評価づけたり、数学的な見方・考え方を介して既習と統合したり発展的に考えたりする学習展開を徹底し、数学的に考える資質・能力を育む深い学びを可視化しています。	●すべての学年において、各時のまとめでは <b>問題解決の過程で働かせせる数学的な見方・考え方を可視化し評価づけたり、既習との統合や発展的な考察を示唆</b> したりしました。2学年以上では○を付し、児童が数学的な見方・考え方やその働きを意識しやすくなるように配慮するとともに、児童の発達段階に配慮し、教材の文脈に落とし込んで <b>具体的に表現</b> することを徹底しました。 ○1年②62及び63のますりんの吹き出し/2下7/3下10, 11/4下59/5下46/6年15 ほか ●各時のまとめで数学的な見方・考え方を評価づけるには、学習過程においてその伏線が不可欠であるため、 <b>問題解決の過程で数学的な見方・考え方を働かせる段階の補助発問（1, 2, …）</b> や子どもの吹き出しにも○を付し、各時のまとめで評価づける数学的な見方・考え方を顕在化させる学習段階の明示を徹底しました。 ○2下5下段 子どもキャラ/3下10①, /4下59③/5下46②/6年15子どもキャラ ほか ●2学年以上の各単元末において、 <b>当該単元で働かせると主たる数学的な見方・考え方を振り返るページ「つないでいこう 算数の目」を設定</b> しました。数学的な見方・考え方を直接的に意識させる問題で構成するとともに、各問題のタイトルは、 <b>本文で具体的に表現してきた数学的な見方・考え方を適度に抽象化して表現し、一般性のあるものとして捉えられ</b> るようにし、以後の学習においても繰り返し働かせ、成長させやすくなるようにしました。 ○2上23/3下68/4下60/5上83/6年69 ほか ●2学年以上に設定した <b>ノートづくりとノートの活用を促す「算数マイノートを学習に生かそう」</b> において、ノートの横に <b>学習過程で働かせた数学的な見方・考え方の振り返り</b> の例を示しました。 ○2下46～47/3上18～19/4上66～67/5上24～25/6年66～67 ほか ●6年間の算数の学習を総括するための最終単元として新設した「算数の学習をしあげよう」では、「 <b>ふりかえろう『領域名』の目</b> 」と題したコラムを設定し、 <b>数学的な見方・考え方から6年間の学習を振り返り、学びの広がりや深まりを捉えられ</b> るようにしました。また、 <b>数学的に考える方法や数学的表現の特長そのものを振り返る小単元を設定</b> しました。 ○6年206, 211, 213, 220, 224, 225～227
②数学的活動を通して学びを実現し、数学的に考える資質・能力を育むための工夫がなされているか。	②各単元、各時の紙面において、数学的活動を通して学習を可視化しています。	●各単元、各時の紙面において、数学的活動を通して学習を可視化しています。	●2学年以上の上巻巻頭に <b>授業開きのページ「学びのとびら」を設定し、</b> 数学的活動をもとにした問題解決の過程を可視化し、体感した上で1年間の学習に入っていきけるようにしました。 ○2上2～5/3上2～5/4上2～5/5上2～5/6年2～5

② 数学的活動を通して学びを実現し、数学的に考える資質・能力を育むための工夫がなされているか。

② 各単元、各時の紙面において、数学的活動を通して学習を可視化しています。

### 数学的活動のイメージ



中央教育審議会  
算数・数学ワーキンググループの  
資料をもとに自社で作成

- 2学年以上の各巻に、1つの問題解決の過程に形式的に落とし込むことなく、教材に即した柔軟な問題解決の過程を可視化したページ「今日の深い学び」を学年3箇所（2年は1箇所）設定し、数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を高められるようにしました。
- 2下43～47/3上15～19, 下13～17, 79～83/4上63～67, 下7～11, 69～73/5上21～25, 87～91, 下95～99/6上63～67, 111～115, 147～151
- 単元の導入「単元プロローグ」において、現実の場面や算数の既習事項を取り上げ、それらについて視点を定めて対話（議論）することを通して単元全体の課題（≒単元タイトル）を創出・発見することができる構成を徹底しました。

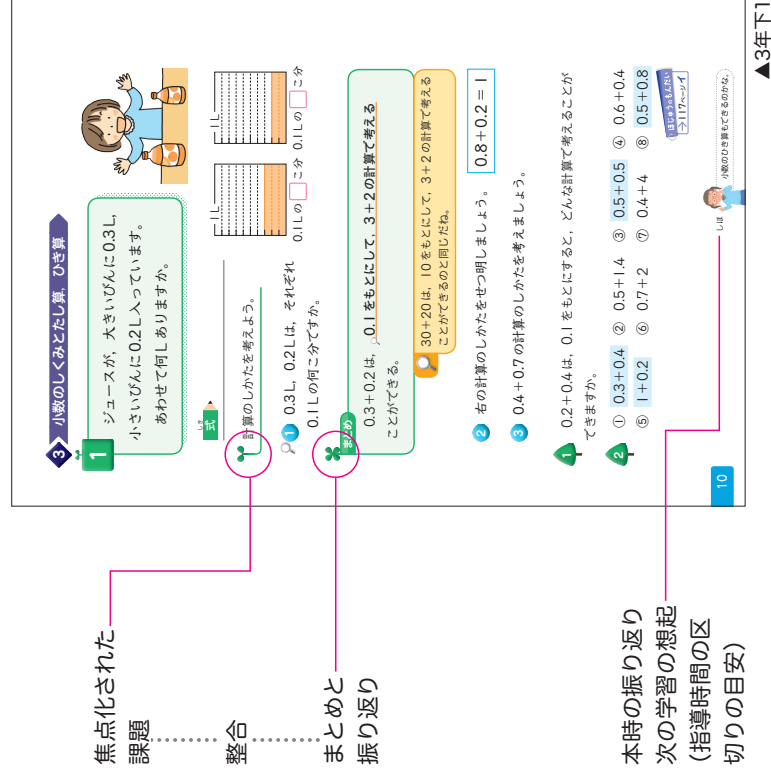
● 1年②60/2上39, 下74/3上34, 下2/4上96, 下54/5上72, 下2/6年8, 34 ほか

- 単元最終ページ「つないでいこう 算数の目」下段において、単元全体の学習を通してできるようになったことや次に学習してみたいことなどを、対話を通して明らかにする活動を示唆しました。上記の「単元プロローグ」による対話ではじまり、対話で学習を締めくくると対話重視の構成を徹底しました。

● 2学年下巻以降の単元末ページ下段

- 2学年以上の各時の展開では、**焦点化された問題**、**見直しをもつための補助発問**（①、②、…）や**子どもキャラクターの吹き出し**、**まとも**、**本時の振り返り**や**次の学習の想起**（脚注子どもキャラクター吹き出し）を**示す構成を徹底し**、自然と数学的活動を通して学習展開となる構成を徹底しました。また、**焦点化された問題**と**まとも**の**内容の整合性**を図りました。

● 2学年以上の各時の全ページ。1学年教科書も2学年以上に準じて数学的活動を念頭においた構成



- 2学年以上の巻末に、**単元の学習を活用して現実の場面で問題解決に活用する「いかしてみよう」**を設定し、**現実の世界**でさらに学習を深めることができました。

● 1年②105/2上49, 下63/3上23, 下18/4上32, 89/5下40, 80/6年116, 193 ほか

- 2学年以上の巻末に、単元末に「いかしてみよう」の設定がない単元については、**単元の学習を活用して数学の問題解決に取り組み「おもしろ問題にチャレンジ」**を設定し、**数学の世界**でさらに学習を深めることができるようにしました。

● 2上127～130, 下111～113/3上144～148, 下125～128/4上150～153, 下142～150/5上142～147, 下144～148/6年258～265

- 1～3学年では、学習指導要領で特に重視されている**数量や図形**を見いだしたり進んで関わったりする活動を積極的に設定しました。さらに、1学年では**具体物を操作したり用いたりすることが重視されていることを受け、積極的に紙面化**しました。

● 1年①1～2, 36～37, 44, ②2, 26, 32, 72～73, 105/2上8, 108, 下12, 63, 92/3上84, 120, 下2, 74, 90～103 ほか

- 4～6学年では、学習指導要領で問題解決の過程や結果を**数学的に表現し伝え合う**ことが特に重視されていることを踏まえ、その取り組みの1つとして**数直線のかき方や読み取り方を丁寧に示した「数直線の図を使って考えてみよう」**を設定し、**繰り返し学習に活用**できるようにしました。
- 4下152～153/5上148～149/6年270～271

- 全学年において、**数学的な見方・考え方を働かせた数学的活動をベースに構成**しました。**キャラクターの吹き出しや補助発問**（①、②、…）を必要に応じて設けるなど、**分かりやすく丁寧な問題解決の学習展開**を通して、**基礎的・基本的な概念や性質、技能が確実に身に付き**、それらの意味や原理なども理解できるように構成しました。

● 文部科学省で実施している全国学力学習状況調査や自治体ごとに行われている**学力調査の結果を分析し**、児童の苦手とする内容を**教科書の問題に反映**させ、**教科書で確実にケアやフォロー**できるように配慮しました。

● 1年②32～33 絵グラフへの表現/2下42 倍の意味/3下99～100 1目盛りの大きさに着目した棒グラフの読解/4上64～66 180°を超える角度の測定/5上41～42 数量の関係の数直線への表現と読解、6年109 図形の組み合わせに着目した求積 など（別冊パンフレット「つまずきへの取り組み」もご覧ください。）

- 2学年以上の巻末に「**ふりかえりコーナー**」を設け、**児童がいつでも必要に応じて自力で既習の内容を確認**したり調べたりできるように工夫しました。前学年までの内容や上巻の内容（下巻の場合）を扱い、**学力調査の結果分析に基づいて児童のつまずきや誤答の多い内容を優先して構成**しました。

● 2上131, 下115/3上150～151, 下130～131/4上154～155, 下154～155/5上150～151, 下150～151/6年272～275

- 2学年以上の各巻裏表紙の裏側に「**さく引**」を設け、**児童が当該の学年で学習した用語や記号の意味を振り返りやすい構成**としました。

- 単元の導入「**単元プロローグ**」では、**既習内容を振り返り整理しながら**、対話により単元全体の課題（≒単元タイトル）を創出する活動を多く取り上げました。児童一人ひとりが自身の既習内容の定着度を確認できるように構成しました。

● 1年②60, 76/2上39～40, 79/3上48/4上36/5上52/6年104 ほか

③基礎的・基本的な概念や性質などの理解、日常の事象を数理的に処理する技能を確実に身に付けることができるように工夫されているか。

③数学的活動を重視した展開で構成し、基礎的・基本的な概念や性質の理解、技能の習熟を確実に進めるようにするとともに、以降の学習で繰り返し活用・適用することによって、すべての児童が確実に習得・定着できるように工夫しています。

●単元末には、単元で学習した基礎的・基本的な概念や性質の理解、技能の定着を図る「**たしかめよう**」を設け、**理解や技能の定着をいっそう確実なものにする**問題で構成しました。

①年②12、25、69、85/2上22/3上82/4上72/5下81/6年117 ほか

●学習後の基礎的・基本的な概念や性質の理解、技能の維持・強化については、単元と単元の間に復習問題「**おぼえているかな？**」を設け、**学力調査の結果分析に基づいて児童のつまづきや誤答の多い問題を中心に構成**するように配慮しました。また、次単元のレディネスチェックもできるよう工夫しました。巻末に解答も用意しているもので自己評価することもできます。

①合計：38箇所（1年：6、2年：5、3年：6、4年：7、5年：7、6年：7）

●全学年において、知識の定着・技能の習熟については、十分な分量の練習問題（④、②…）を用意し、学習内容を確実に理解できるように配慮しました。

●練習問題には**原則として全単元に「ほじゅうのもんだい」を用意し、さらなる習熟が必要な場合に教科書で対応**できるようにしました。巻末に掲載し、①単元内の練習問題とリンク、②2段階レベルの問題（練習問題と同じレベル）やや負荷のあるレベル<sup>ア</sup>で構成、③解答も掲載しているため、一人ひとりの児童の学習状況に幅広く柔軟に対応できるようにしました。

①2上118～126/3上135～143/4上139～149/5上128～141/6年246～257

【主として、統合的・発展的な考察に関わる特長】

●2学年以上において、各時のまとめでは問題解決の過程で動かさせた**数学的な見方・考え方を**を付して可視化し、**既習との統合や発展的な考察を促進**しました。児童の発達段階に配慮し、教材の文脈に落とし込んで具体的に表現することを徹底しました。1学年も、吹き出しなどを用いて数学的な見方・考え方を可視化し、統合的・発展的な考察を促しました。

①2⑥2および630のますりんの吹き出し、2下7/3下10、11/4下59/5下46/6年15 ほか

●2学年以上の単元末に設定した「**つないでいこう 算数の目**」においては、**当該単元の学習内容と既習を数学的な見方・考え方を介して統合**することを積極的に扱いました。

①2下73/3下49/4上91/5上119/6年52 ほか

【主として、筋道立てた考察と数学的な表現力に関わる特長】

●友だちなどと協働的に、対話を通して筋道立てて考察したり表現したりする力を育成するために、紙面に表現された友だちの考えや対話を読み取りながら問題解決に取り組む展開で構成したページを発達段階に配慮しながら設定しました。これらのページを活用し、**全国学力学習状況調査でも問われる読解や表現を伴う筋道立てた思考力を育成**できるように工夫しました。

①2上128/3上83/4下16、60/5上143/6年116 ほか

●2学年以上の上巻巻頭に**授業開きのページ「学びのとびら」**を設定し、**課題を焦点化して見通しをもつこと**、**論理的に考え判断した過程や結果を数学的表現を用いて表し伝える**学習を高めて1年間の学習に入っていくけるようにしました。

●2学年以上の各巻に、**解決の見通しをもち論理的に考え判断した過程や結果を数学的表現を用いて表し伝える**学習をいっそう可視化した「**今日の深い学び**」を学年3箇所（2年は1箇所）設定し、論理的思考力や数学的な表現力をさらに高められるようにしました。その際、一つの問題解決の過程に拘泥することなく、例えば、**いちど問題を解決した後**にさらなる課題を創出し**発展的に考える展開とするなど**、教材に即した柔軟な展開の問題解決型学習を可視化しました。

●「**学びのとびら**」「**今日の深い学び**」では、授業（思考、判断）とノート（表現）は互恵的な関係との考えから、前半を授業のページ、後半をノートのページとして、**授業とノートを相互に関連させながら構成**しました。

「学びのとびら」…①2上2～5/3上2～5/4上2～5/5上2～5/6年2～5

「今日の深い学び」…①2下43～47/3上15～19、下13～17、79～83/4上63～67、下7～11、69～73/5上21～25、

87～91、下95～99/6年63～67、111～115、147～151

●前半の授業ページの特長

・紙面レイアウトは他のページと区別して、側柱を設けて思考活動・表現活動を具体的に示唆するなどとして、それぞれの学習活動の意図が明確に児童に分かるように工夫しました。

・自力解決の場面では、**既習の内容から類推的、機能的、演繹的な考えを用いて見通しを立て**、複数の考えをしようとして試みることを強調しました。

・掲示する児童の考えは**図、表、式などの数学的な表現を用いたものに限定**し、算数科の特質を生かした言語活動例として示しました。

・発表の場面では、友だちの考えを読み取って説明する活動を通して、**数学的な思考力、判断力、表現力**が身に付くように工夫しました。

・話し合いの場面では、複数の解決方法・表現方法を比べて相違点について検討、考察する活動を取り入れ、**数学的な思考力、判断力、表現力を高められるように**しました。

・振り返りとまとめの場面では、知識・技能にとどまらず、**問題解決の過程で動かさせた数学的な見方・考え方を価値づける**ことを促し、徹底しました。

●後半のノートのページ「**算数マイノートをつくらう**」「**算数マイノートを学習に生かそう**」の特長

・**ノートを見ながら一人ひとりの論理的な思考活動・表現活動の場として位置づけ**、児童の考えを記述すること、**つくったノートを見て数学的な見方・考え方を軸にした振り返りに活用**することに重点を置きました。なお、あくまで例として取り上げるにとどめ、マニュアル化するような取り扱いは避けました。

●1学年から書く活動を重視し「**算数マイノートをつくらう**」、「**算数マイノートを学習に生かそう**」の素地指導として、**1年入門期に使用する1年①を大きいA4判とし、ノートの機能も併せもった構成**としました。教科書とノートを出し入れする時間を大幅に軽減し、算数の学習に多くの時間を充てながらノート指導の素地を培うことができます。また、一般的なノートと同じように中綴じを採用し開きやすくするとともに、**軽量で筆記適性に優れた用紙を開発し、使用**しました。

●低学年においてもノートに自分の考えを書く活動を促すページを設定しました。系統的に取り組めるように発達段階を考慮し、記述内容例や使用するノートなどにも配慮しました。低学年から考えをノートに表現する習慣が身に付き、2学年下巻以降の本格的なノートづくりにもスムーズにつなげることができる構成としました。

①1年②4、51、70/2上4～5

【主として、数学的な表現に関わる特長】

●低、中学年では、本文のほか、図を活用した問題解決能力の伸長をねらいとして3学年以上に「**考える力をのばそう**」を設定し、発達段階に配慮しながら（**かくことを急ぎすぎない**）、線分図や表を活用して問題を解決することを丁寧に扱い、段階的に活用する力が身に付くようにしました。

①2下74～81/3上58～59、下108～109/4上92～93、下120～121 ほか

●4～6学年では、**数直線のかき方や読み取り方を丁寧に示した「数直線の図を使って考えてみよう」**を設定し、繰り返し学習に活用できるようにしました。

①4下152～153、/5上148～149/6年270～271

●数、図、式による表現を算数科の言語活動と位置づけ、全学年にわたって**数、図、式を読み取って言語で表現する活動**などを積極的に取り入れて、児童の言語によるコミュニケーション能力が高まるように工夫しました。

①1年②10、119/2上61、下57/3上11、116～117/4上115～117/5下79/6年29 ほか

⑤ 数学的活動の楽しさや数学のよさに気づき、学習を振り返ってよりよく問題を解決しようとしたり、算教で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度が育つように工夫されているか。

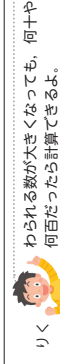
⑤ 活動性に富んだり、算数科ならではの興味深い内容で構成したりした数学的活動を豊富に取り入れ、その楽しさや数学のよさに気づくことができるように工夫しています。また、問題解決の過程や結果の振り返りや、学習したことを生活や学習に活用を促す場を豊富に設定し、これらの態度が育つように工夫しています。

- 全学年において、各時の学習展開では、**数学的な見方・考え方を〇を付すなどして顕在化し、これらを介して各内容や解決方法の明瞭性、一般性、簡潔性などのよさを体感できる構成を徹底しました**（補助発問、子どもキャラクター吹き出し、まとめ）。
- 1～3学年では、学習指導要領で特に重視されている**数量や図形を見いだしたり進んで関わったりする活動を積極的に設定**しました。
- 1年①1～2, 36～37, 44, ②26, 32, 72～73, 105/2上8, 108, 下12, 63, 92/3上84, 120, 下2, 74, 90～103 ほか
- 6学年最終単元「算数の学習をしあげよう」では、**論理的な思考方法や数学的表現の有用性に着目し振り返り小単元を設定**しました。
- 6年225～227
- 2学年以上の各時の区切りの目安の位置には、子どもキャラクターの吹き出しで**本時の学習を価値づけたり、既習の内容と統合したり、発展的に次の学習を想起したりする姿を例示し、数学的活動の楽しさや数学のよさに着目することを促進**しました。
- 2学年以上の各時の区切りの目安の位置
- 2学年以上の上巻巻頭に設定した**授業開きのページ「学びのとりば」**や、**数学的活動をもとに問題解決する過程をいっそう可視化した「今日の深い学び」**では、**まとめの段階の側注で学習の過程や結果の振り返りを明文化して促**しました。
- 「学びのとりば」…○ 2上3/3上3/4上3/5上3/6年3
- 「今日の深い学び」…○ 2下45/3上17, 下15, 81/4上65, 下9, 71/5上23, 89, 下97/6年65, 113, 149
- 単元の導入「**単元プロローグ**」では、身の回りの事象から**数理を見いだし、議論する活動を豊富に取り入れるなど学習内容と生活の関連を強調し、日常生活に学習を生かそうとする態度が身に付く**ようにしました。
- 1年②26/2上12/3上84/4上74/5下28/6年8 ほか
- 2学年以上の単元末に、**学習したことを日常生活に活用する「いかしてみよう」を設定し、学ぶことの楽しさや意義を実感して進んで生活に生かそうとする態度が身に付く**ようにしました。
- 1年②105/2上114, 下63/3下18/4上32/5上38/6年116, 193 ほか
- 単元最終ページ「**つないでいこう 算数の目**」下段やノートづくりのページ「**算数マイノートを学習に生かそう**」では、次に学習してみたいことを想起する子どもの姿を例示し、**学習したことを進んで学習に生かそうとする態度が身に付く**ようにしました。
- 2下50/3上46, 下17りく/4上54, 67みさき/5上31, 91しほ/6年67こうた, 162 ほか
- 2学年以上にコラム「**ますりん通信**」を設け、**算数の学習に関連する多方面からの話題や児童が気づいたり発見したりした見方・考え方などを取り上げ**ました。これらが児童の意識の内に残ることで、**数学のよさを感じたり、以後の学習で芽を出し児童の思考に有効に働きかけたりすることができるよう**に構成しました。
- 2下28/4下59, 88/5下109/6年191 ほか
- 4学年以上に「**算数で読みたいこと**」を設け、**実際のデータを数学的に読解・解釈したり考察し判断したりするなどの活動を取り入れ**ました。これらの学習を通して、**日常の事象を数理の目で捉えることの面白さや有用性、重要性が分かる**ように、**児童が関心をもち主体的に関わる**ことができるように工夫しました。
- 4上134～135, 下122～123/5上122～123, 下126～127/6年90～91, 196～197

● 2学年以上の各時の区切りの目安の位置



みさき  
りく



▲4年上38 脚注

## 1 算数科の目標

## 2 指導計画の作成と内容の取扱い

① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫がなされているか。

① 巻頭、各単元の構成、学習場面などを工夫し、主体的・対話的で深い学びを可視化し、実現できるように工夫しています。

- 2学年以上の上巻巻頭に**授業開きのページ「学びのとりば」を設定し、主体的・対話的な問題解決の過程を可視化し、体感**した上で1年間の学習に入っていくようにしました。
- 2上2～5/3上2～5/4上2～5/5上2～5/6年2～5
- 2学年以上に、**主体的・対話的な問題解決の過程を詳しく可視化したページ「今日の深い学び」を学年3箇所（2年は1箇所）設定し、深い学びを通して資質・能力を高められる**ようにしました。
- 2下43～47/3上15～19, 下13～17, 79～83/4上63～67, 下7～11, 69～73/5上21～25, 87～91, 下95～99/6年63～67, 111～115, 147～151
- 全学年全教材の素材や場面について、**児童が解決の必然性を感じられるように吟味し、意欲を高め主体的に学習に取り組める**ようにしました。
- 全学年
- 2学年下巻以降の全単元において、単元導入の「**単元プロローグ**」では**対話を通して単元全体の課題を見いだし、単元末「つないでいこう 算数の目」下段では単元の学習を対話を通して総括する活動を示唆**するなど、**対話重視の構成を徹底**しました。
- 2学年下巻以降の各単元
- 学習後の基礎的・基本的な概念や性質の理解、技能の維持・強化をねらいとして、単元と単元の間に**復習問題「おぼえているかな？」**を設け、**各種学力調査の結果分析に基づいて児童のつまづきや誤答の多い問題を中心に構成**するように配慮しました。**巻末に解答も用意**しているので自己評価することもできます。
- 1年②59/2上78/3上47/4上133/5上39/6年89 ほか
- 2学年以上の**目次**において、単元の左右にそれぞれ「**前の学習**」「**後の学習**」を設けて、**学習の継続性**（今自分を取り組もうとしている学習は何をもとにしているのか、この学習が次にどこにつながっていくのか）が児童に分かるように示しました。
- 例えば、統計の絵グラフを作成する際に長さの学習を想起したり、面積の学習で比例の関係にふれたたりするなど、**領域を超えて既習の内容との関わりを示唆し、活用できるような構成とし、それぞれの領域の学びを有機的につなぐことができる**ように工夫しました。
- 1年②33 みさき吹き出し, 3下93 ③ /5上64, 下62/6年39～40 ほか
- 低学年の学習場面は、**生活科などと関連を図り、教科横断的な扱いが**できるようにしました。
- 1年①37, ②26, 77/2上90～91, 下75～77 ほか
- 1年①を**幼児期に親しんだことが多くと推察されるA4判**としました。最初のページでは、**スタートカリキュラムの考え方をもとに幼児期に育った「数量の多少の比較」や「数量の多少の直感的な判断」といった数量に関する関心、感覚を想起させるページ「くらべたことがあるかな」「おおいのはどちらかな」**を新設し、**児童の経験を引き出し、自信をもって算数の学習に取り組める**ように工夫しました。
- 1年①1～2
- 6学年は、**学習指導要領において中学1年との接続が重視**されていることを踏まえ、5学年までの上下分冊からいつでも学習を振り返りやすいメリットを重視して**合冊構成**にしました。
- 6学年では、中学校数学との内容的な連結にも重点を置き、**算数の学習が中学校の数学に結び付いていることが分かる**ように、本文では、**⑤を**を設けて具体的なつながりを例示したり、「**算数の学習をしあげよう**」では中学校でますます活用する**思考方法や数学的表現**を振り返ったり、「**算数卒業旅行**」の最初に「**中学校体験入学コース**」を設けて、**中学校の数学の内容を具体的に経験**したりすることを通して、中学校での学習への関心や安心感が高まるように構成しました。
- 6年23, 32, 88, 103, 118, 127, 162, 195, 225～227, 229～231

② 既習を適宜ふりかえる機会を設定したり、当該の学習と前後の学習のつながりを示したりするなどして、継続的な指導や学年間の円滑な接続を図ることができるよう工夫しています。

- 学習後の基礎的・基本的な概念や性質の理解、技能の維持・強化をねらいとして、単元と単元の間に復習問題「おぼえているかな？」を設け、各種学力調査の結果分析に基づいて児童のつまづきや誤答の多い問題を中心に構成するように配慮しました。巻末に解答も用意しているので自己評価することもできます。
- 1年②59/2上78/3上47/4上133/5上39/6年89 ほか
- 2学年以上の**目次**において、単元の左右にそれぞれ「**前の学習**」「**後の学習**」を設けて、**学習の継続性**（今自分を取り組もうとしている学習は何をもとにしているのか、この学習が次にどこにつながっていくのか）が児童に分かるように示しました。

③ 他領域の内容との関わりを積極的に示唆して、それらを活用して解決する場として取り上げるように工夫しています。

- 例えば、統計の絵グラフを作成する際に長さの学習を想起したり、面積の学習で比例の関係にふれたたりするなど、領域を超えて既習の内容との関わりを示唆し、活用できるような構成とし、それぞれの領域の学びを有機的につなぐことができるように工夫しました。
- 1年②33 みさき吹き出し, 3下93 ③ /5上64, 下62/6年39～40 ほか

③ 領域間の指導の関連を図った指導のための工夫がなされているか。

③ 他領域の内容との関わりを積極的に示唆して、それらを活用して解決する場として取り上げるように工夫しています。

- 例えば、統計の絵グラフを作成する際に長さの学習を想起したり、面積の学習で比例の関係にふれたたりするなど、領域を超えて既習の内容との関わりを示唆し、活用できるような構成とし、それぞれの領域の学びを有機的につなぐことができるように工夫しました。
- 1年②33 みさき吹き出し, 3下93 ③ /5上64, 下62/6年39～40 ほか

④ 低学年における他教科との関連や、幼児期の教育との関連を図った指導のための工夫がなされているか。

④ 他教科の学習場面を問題場面として採用したり、幼児期の終わりでに育ってほしい姿をふまえたページを新設したりするなどして、低学年における他教科や、幼児期の教育との関連を図る工夫をしています。

- 低学年の学習場面は、**生活科などと関連を図り、教科横断的な扱いが**できるようにしました。
- 1年①37, ②26, 77/2上90～91, 下75～77 ほか
- 1年①を**幼児期に親しんだことが多くと推察されるA4判**としました。最初のページでは、**スタートカリキュラムの考え方をもとに幼児期に育った「数量の多少の比較」や「数量の多少の直感的な判断」といった数量に関する関心、感覚を想起させるページ「くらべたことがあるかな」「おおいのはどちらかな」**を新設し、**児童の経験を引き出し、自信をもって算数の学習に取り組める**ように工夫しました。
- 1年①1～2

⑤ 中学校との円滑な接続を図るための工夫がなされているか。

⑤ 中学校数学の教材との関連を十分に配慮しています。

- 6学年は、**学習指導要領において中学1年との接続が重視**されていることを踏まえ、5学年までの上下分冊からいつでも学習を振り返りやすいメリットを重視して**合冊構成**にしました。
- 6学年では、中学校数学との内容的な連結にも重点を置き、**算数の学習が中学校の数学に結び付いていることが分かる**ように、本文では、**⑤を**を設けて具体的なつながりを例示したり、「**算数の学習をしあげよう**」では中学校でますます活用する**思考方法や数学的表現**を振り返ったり、「**算数卒業旅行**」の最初に「**中学校体験入学コース**」を設けて、**中学校の数学の内容を具体的に経験**したりすることを通して、中学校での学習への関心や安心感が高まるように構成しました。
- 6年23, 32, 88, 103, 118, 127, 162, 195, 225～227, 229～231

項目	観点	特色	具 体 例
2 指導計画の作成と内容の取扱い	⑥障害のある児童への指導に対する配慮や工夫はなされているか。	⑥教科書そのもので取り組めることとして、可能な限り発達障害や色覚特性への配慮を行うとともに、学習者用デジタル教科書では学習時の負担軽減のための機能を充実させました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●重要事項（問題、まとめ）などを枠で囲みほかの構成要素と明確に区別したり、ページ番号を白抜き文字にしたり、濃い色の使用を限定的にしたり、色数を削減し視覚的な刺激を軽減したりするなど、<b>重要事項に着目しやすく学習に集中しやすい紙面デザイン</b>に徹底的にこだわりました。</li> <li>●<b>全学年全ページ</b></li> <li>●先天性色覚異常に対する配慮を、専門家の全学年全ページにわたる校閲により徹底しました。また、色のみで解答する問題や図示をしない、色だけではなく形や模様でも区別がつくデザイン処理を徹底しました。</li> <li>●従来の教科書体と比して、さらに<b>視認性を高めた新しい教科書体を開発し、全学年で使用</b>しました。開発にあたっては、慶応義塾大学中野泰志先生の指導のもと、<b>弱視の児童や弱視の児童を指導する先生方へのアンケート調査結果</b>を重視しました。</li> <li>●紙の教科書と併用が認められた「<b>学習者用デジタル教科書</b>」では、文字色や大きさ、行間などの調整機能、本文の読み上げ機能、総ルビ・分かち書き表示機能を搭載し、学習時の負担を軽減できるようにしました。</li> </ul>
	⑦道徳科と関連した指導に対する工夫はなされているか。	⑦算教科の目標である思考力、判断力、表現力や学びに向かう態度の育成は、道徳教育の目標である生活態度などにつながるものとして関連して指導できるように工夫しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「<b>学びのとびら</b>」「<b>今日の深い学び</b>」の授業のページでは、問題解決の過程で他者の考えを検討する場面を示して、<b>男女の区別や属人的な視点からではなく、数学的な視点から公平に検討</b>することを扱いました。また、「<b>算数マイノートをつくらう</b>」「<b>算数マイノートを学習に生かそう</b>」では他者の考えの長所を認めたり他者を参考に自分の考えを修正したりする例を示しました。</li> <li>●これらを通して、<b>道徳教育に関連した指導</b>ができるように配慮しました。「学びのとびら」…②下2～5/3上2～5/4上2～5/5上2～5/6年2～5「今日の深い学び」…②下43～47/3上15～19、下13～17、79～83/4上63～67、下7～11、69～73/5上21～25、87～91、下95～99/6年63～67、111～115、147～151</li> </ul>
	⑧コンピュータの活用（プログラミングを含む）による学習効果向上のための工夫がなされているか。	⑧プログラミング教育では、特設ページによるアンプログラミングな活動に加え、プログラミングを体験できる無料のデジタルコンテンツを用意しています。そのほかの教材についても、コンピュータを活用して効果的・効率的に学習指導ができるように工夫しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プログラミング教育については、第5、6学年に単元の学習と関連させた特設ページ「<b>プログラミングを体験しよう！</b>」を設定しました。必要に応じて、本ページを活用し、算教科の学習に関連づけながらアンプログラミングでプログラミング的に思考する体験ができるとともに、<b>プログラミングができるデジタルコンテンツ</b>を用意し、コンピュータを活用したプログラミングにも取り組めるようにしました。</li> <li>●<b>5上103→126→デジタルコンテンツ（倍数を求めると、5下104→134→デジタルコンテンツ（正多角形の作図）、6年186→242→デジタルコンテンツ（数の並べかえ）</b></li> <li>●数学的活動の支援、学習効果の向上、基礎・基本の習熟定着とつまずきへの対応、統計学習の支援をテーマとし、<b>教科書の内容と密接に関連したデジタルコンテンツを多数用意</b>しました。教科書表紙裏ページにあるURLや二次元コードからコンテンツにアクセスして活用できます。</li> <li>●なお、単元の設定箇所のページには<math>\text{\textcircled{B}}</math>を付し、コンテンツが用意されていることが一目で分かるようにしました。</li> <li>●<b>1年①30、②33/2上9、下39/3上124、下12/4上85、下69/5上87、下45/6年180、184、191</b> ほか</li> <li>●<b>※コンテンツリストは、本冊子最終ページに掲載してあります。</b></li> <li>●上記のデジタルコンテンツの使用にあたっては、<b>まず保護者に相談するよう注意を促しました</b>。このことにより、誤って悪質サイトへアクセスしてしまうなど、<b>インターネットを利用する際のトラブルを未然に防ぐ</b>ことができるようにしました。</li> <li>●授業をより効果的・効率的に行うことができるように、「<b>指導者用デジタル教科書(教材)</b>」も販売する予定です。</li> <li>●統計的な処理を行うためのデジタルツール「<b>統計ツール</b>」を開発し提供する予定です。上記のデジタルコンテンツが教科書の内容に準拠したものであり、「統計ツール」は、場面や展開によらず、各種グラフを作成するためのツールです。</li> </ul>

### (3) 教科書の構成上の配慮と工夫

項目	観点	特色	具 体 例
1 内容の程度	①本文の内容の程度や展開は児童の発達段階に適合しているか。	①本文の内容は、日常生活や以後の学習に不可欠な基礎的・基本的なものを重視して取り上げています。記述・展開についても、問題解決学習のステップを重視し、丁寧さを重視しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全学年で、記述や展開は授業の展開、児童の思考の流れを想定し、学年の発達段階に応じて、問題解決のための図や発問、キャラクターの吹き出しなどを設け、<b>児童が考える部分を残しつつ丁寧な文脈の可視化を重視</b>しました。このことよって、児童が学習を振り返るときにも確実に内容がおさえられるようになりました。</li> <li>●低学年では無理に多様な考えを複数示すことをあえて避けるなど、<b>学年の発達段階や子ども心理面に配慮</b>しました。</li> <li>●<b>1年の繰り上がりのある加法や繰り下がりのある減法の導入では、複数の考えを同時にしないなど（1②61～62、77～78）。</b></li> </ul>
	②練習問題の内容や程度は適切か。	②練習問題は基礎的・基本的な内容に重点を置き、難易度も本文と同程度のものと構成しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本文の練習問題、単元末の練習問題とも、<b>本文の例題と同程度の問題で構成</b>しました。練習問題の配列は、難易に配慮して細やかなステップで学習が進められるように配慮しました。</li> <li>●練習問題では、学習内容を適用することをねらいとし、<b>本文の学習だけでは解けないような難度の高い問題、複雑な思考を要する問題などは避けるように配慮</b>しました。</li> </ul>
	③補充的・発展的な学習についてはどのように配慮されているか。	③いずれも基礎的・基本的な内容をより確実に身に付けたり深めたりできるように工夫し、柔軟に扱えるように配慮しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本文の学習後にさらに習熟が必要な児童のために、巻末には「<b>ほじゅうのもんだい</b>」を設定し、<b>さらなる習熟が必要な場合に、児童の学習状況に幅広く柔軟に教科書で対応</b>できるようにしました。</li> <li>●<b>2上118～126/3上135～143/4上139～149/5上128～141/6年246～257</b> ほか</li> <li>●2学年以上の「発展的な学習」として、<b>単元の学習を活用して数学の問題解決に取り組み「おもしろ問題にチャレンジ</b>」を設定し、数学の世界でさらに学習を深めることができるようにしました。</li> <li>●<b>2上127～130、下111～113/3上144～148、下125～128/4上150～153、下142～150/5上142～147、下144～148/6年258～265</b></li> </ul>
	④探究的な学習の取扱いについてはどのように配慮されているか。	④探究的な学習の活動は、「総合的な学習の時間」などで取り組むことも配慮して、さまざまなテーマの教材を用意しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●4学年以上に「<b>算数で読みとこう</b>」を設け、実際のデータを数学的に読解・解釈したり考察し判断したりするなどの活動を取り入れました。これらの学習をきっかけとして、<b>児童が関心をもちさらに探究していくきっかけとなるようにテーマや学習展開などを工夫</b>しました。</li> <li>●<b>4上134～135（残食）、下122～123（防災・減災）/5上122～123（国際理解）、下126～127（日本の国土利用）/6年90～91（オリンピック・パラリンピック）、196～197（情報通信技術）</b></li> <li>●6学年には「<b>算数卒業旅行</b>」を設け、<b>クイズやパズル、和算など楽しく学習できる教材</b>を用意しました。児童の興味関心に応じて、探究的な学習活動ができるように工夫しました。</li> <li>●<b>6年228～240</b></li> <li>●5、6学年の統計単元では、探究的な活動の手がかりとして、総務省統計局作成のウェブサイト「なるほど統計学園」を紹介しました。</li> <li>●<b>5下94/6年191</b></li> <li>●2学年以上の各巻にコラム「<b>ますりん通信</b>」を適宜設け、多方面から当該の学習内容と関連した話題を取り上げ、児童の算数への関心や学習意欲を高めながら、探究的に学習する手がかりとすることができるようにしました。</li> <li>●<b>2下38/3上130/4上13/5上29/6年168</b> ほか</li> <li>●3年以上の各巻に、「<b>かたちであそぼう</b>」を設けました。<b>さまざまな図形にふれ、親しみながら図形感覚を養い、図形に対する探究的な学習に取り組むきっかけ</b>となるようにしました。</li> <li>●<b>3上134、下116/4上138、下130/5上127、下135/6年244、245</b></li> </ul>

項目	観点	特色	具 体 例
<b>2 内容の組織・配列</b>	①単元の指導時期は系統性、学期内や領域のバランス及び児童の発達段階に配慮されているか。	①各学年において、前後の学年の内容も視野に入れ、児童の発達段階、単元の相互の関連や領域のバランス、学習効率、指導の時期などを十分に考慮して、系統的・発展的・効果的に学習が積み上げられるように単元を配列しています。	● <b>基礎的・基本的な内容をスパイラルに学習</b> することに重点を置き、1つの学期に理解が困難な内容や、確実な知識技能の定着が求められる内容が集中したり、特に低、中学年では同一領域の内容がいくつも連続したりしないように、単元の配列を工夫しました。 ●習熟に時間を要する内容やスパイラルに学習することが有効な内容については、 <b>2つの単元に分けて段階的に取り扱う</b> ようにしました。特に計算単元などは、練習の機会を増やすよう学期末や学年末の配置を避けるなどの配慮をしました。 ○ <b>1年</b> ：長さ、かさ、広さ/ <b>2年</b> ：整数の加減の筆算、乗法九九、長さ/ <b>3年</b> ：乗法の筆算/ <b>4年</b> ：除法の筆算/ <b>5年</b> ：小数の乗除/ <b>6年</b> ：分数の乗除 ほか ●3学年「重さ」と理科の「重さ」、4学年「折れ線グラフ」と理科の「天気の様子」と気温」など、 <b>内容的に関連の深い内容については、指導時期を考慮した配列位置にしました</b> 。相互に理解を深め効果的・効率的に学習が進められるようにし、算数の学習内容の価値が児童に伝わるように工夫しました。 ○ <b>3年</b> 「重さ」、 <b>4年</b> 「折れ線グラフ」ほか

<b>3 分量や時間</b>	①各学習内容の分量は適切に配分されているか。 ②指導時間数や発達段階に照らして、全体の分量や1時間ごとの分量は適切か。 ③練習問題の分量は適切か。	①基礎的・基本的な知識・技能について十分な指導ができるように分量を配分しています。 ②標準指導時数の約9割弱で学習できる分量で構成しています。1時間あたりの分量も、無理なく学習のまとめ、振り返りができるようにしています。 ③練習や復習の問題は、理解を習熟・定着させるのに必要な範囲に精選し、分量も適切です。	●各学年の重要教材を中心に、 <b>理解や定着に必要なページ数と十分な時間数が確保</b> できるようにメリハリを付けバランスよく配分しました。 ●単元の導入や概念、原理、法則などを扱うところでは、丁寧に展開するために <b>特に時間を配分し、じっくりと意欲・関心づけや理解が図れる</b> ように配慮しました。 ●領域の分量配分は、学習指導要領の内容に基づいて決めており、 <b>ページ数、時間数ともにバランスよく配分</b> しました。 ●各学年とも、年間32週前後で学習を終えられるように分量を吟味しました。また、各学年とも <b>10%強（年間約20時間程度）の予備時間を設け、余裕を持って時間を調整</b> できるようにし、学級の実態に応じた補充・発展の指導や単元評価テストの実施などに充てられるように配慮しました。 ○（パンフレット冊子p.30～31「年間指導計画一覧」をご覧ください。） ●1時間あたりの内容を原則1～2ページで構成して指導時数の見通しを持ちやすくし、 <b>単元全体の指導計画を立てたり修正したりしやすい</b> ように配慮しました。 ●練習問題は、本時の学習内容を適用して <b>理解の確認や技能の定着を確実に</b> できるように、 <b>内容と時間を考慮して適切な分量</b> を扱うようにしました。 ●単元末に「 <b>たしかめよう</b> 」を設定し、 <b>知識・技能を確実に身に付ける</b> ことができるようにしました。 ●2学年以上の巻末に「 <b>ほじゅうの問題</b> 」を設定し、 <b>個に応じた分量、難易度の問題に取り組み</b> るようにしました。 ○ <b>2上118～126/3上135～143/4上139～149/5上128～141/6年246～257</b>
----------------	---------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<b>4 教材・場面</b>	①算数科固有の教材の取り扱いについて、特長的な工夫がなされているか。	①割合、領域が新設された統計の学習に関連する教材の取り扱いは、児童の実態などをとにさまざまな工夫をしています。	●割合について、2学年より <b>段階的、系統的に分数と関連づけたり倍を取り扱ったりして割合の素地を培う</b> 、 <b>学力調査の問題および結果をベースに割合の理解の深化を図る</b> などして重点化しました。 ○ <b>2下42、88～89/3上116～117、下70～73/4上114～119/5下124～125</b> ほか ●統計単元について、統計的な問題解決の方法の段階的な理解のために、 <b>問題解決のストーリーに必然性をもたせたり、5、6学年では統計的な問題解決の過程を図式化したり身の回りの事象を統計的に解決する活動を設定</b> したりしました。 ○ <b>1年②32～34/2上8～11/3下90～104/4上20～34/5下84～90、91、92/6年178～188、189、193</b>
----------------	------------------------------------	---------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<b>5 表記・表現と絵図や写真</b>	①文章の表現は、読みやすく、理解しやすいように配慮されているか。 ②漢字・仮名遣いは、国語科等の指導との関連に配慮されているか。 ③図やシエーマは発達段階をふまえて系統的に扱われているか。 ④絵図、写真などの、発達段階への対応や親しみやすさ、わかりやすさなどは工夫されているか。	①文章の表現は、正確かつ簡潔で理解しやすい表現にしています。 ②文章の読解に対する抵抗感を除く配慮をしました。 ③図解については、系統を吟味し、学年段階を迫って発展させたり抽象化したりしながら、内容理解に役立つようにしています。 ④絵や写真、興味・関心を高め、理解に役立つことをねらいとして、表現や内容、提示の方法などを工夫しています。	●誤解やあいまいな理解を与えないように、解説や説明のしかたは丁寧さと正確さに意をうけました。また、文章問題に関しては、国語科との関連を考慮して、1学年の入門期からしばらくは文字の使用を最小限にとどめること、複文など長文を避けること、指示代名詞を使わないことなど、細やかな配慮をしました。 ●漢字は、国語科の学習との関連を重視し、原則として当該学年までの配当漢字を用いるようにしました。また、 <b>当該学年の漢字や未習の漢字については、ページごとに初出箇所</b> に振り仮名をつけて、学習上の支障にならないように配慮しました。 ●加減計算の図解については、ブロックのシエーマから○などの図に置き換え、2学年では必要感を伴って段階的にテープ図に置き換えていくなど、丁寧な学習ステップにしました。 ● <b>テープ図をかく学習活動は児童の発達段階に配慮して急ぎすぎず、2下80の段階で取り上げ、理解を確実に</b> できるようにしました。 ●乗除の演算構造図として用いている数直線の図は、段階的に抽象化しながら2学年から6学年まで一貫して演算決定の場面で提示しました。また、「数直線の図を使って考えてみよう」を4～6学年の3学年に設け（4下152～153、5上148～149、6年270～271）、数直線の図をかく活動を通して2つの量の数量の関係を確実に理解できるようにしました。 ●できるだけ <b>実物の写真を使用</b> し、実生活との関連を意識しやすくするように配慮しました。 ●1学年で特に基本となる数の合成・分解の関係を捉えやすく表現しやすく、いわゆる <b>サクランボの図を取り入れ</b> 、学習で活用できるようにしました。 ○ <b>1年①13、29、②41、62</b> ほか ●割合など、特に数量の関係把握が困難な学習においては、数量の関係が捉えやすくなるよう絵図を特に工夫しました。 ○ <b>4上115、116、117、/5下74、79、124</b> ほか
----------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<b>6 すべての児童が使いやすい紙面への配慮</b>	①特別支援教育に対して配慮がなされているか。 ②人権上の配慮がなされているか。 ③ユニバーサルデザインの実現に対する配慮や工夫がなされているか。	①支援を要する児童だけでなくすべての児童が算数を学ぶための有効な手だてとして、多くの対応に徹底して取り組んでいます。 ②題材の選定や場面の表現においては、専門家による指導のもと、社会的な性差別や人権差別を助長することのないように配慮していること。 ③字体の視認性の高さ、色覚の特性への配慮などについては、専門家による指導のもと徹底しています。	●全学年のすべての文章において、 <b>文節改行（文節の切れ目で改行）を徹底</b> し、文章を読み取りやすくして、児童が算数の学習に取り組みやすくなるよう配慮しました。 ●全学年において、 <b>問題文とまよめめの文のそれぞれを枠で囲む</b> などとして、一目で問題文とまよめに着目しやすくなるように配慮しました。 ●特に低学年では「ページ数を表す数字が他の数字と区別しにくい」との指摘から、全学年において、一目で他と区別できるような <b>白抜き文字を用いたデザイン</b> にしました。 ●特に低学年では「余計な情報が目に入り学習の支障になる」との指摘から、全学年において <b>使用する色数を減らす</b> 、 <b>淡い配色を基本とする</b> 、 <b>記号の形を基本図形に寄せたシンプルなものにする</b> など、 <b>学習に集中しやすい紙面づくり</b> を心がけました。 ●登場するキャラクターの性別を明確にしない、男女の言葉遣いを区別しない、男子は青の服、女子は赤の服やスカートなど、固定的なイメージで性の区別をしないように配慮しました。 ●活動場面では、男女の比率やそれぞれの役割に偏りのないように配慮しました。 ●すべての絵、写真、図などを、カラーバリエーションに取り組みボランティア団体の協力を得て全ページに渡って点検し、すべての児童に見やすい紙面になるよう配慮しました。
-----------------------------	--------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 6 すべての児童が使いやすい紙面への配慮

③ユニバーサルデザインの実現に対する配慮や工夫がなされているか。

④教科書の重量は児童の身体的な負担に対して配慮されているか。

⑤文字、絵図、写真などの印刷は鮮明で、製本は長期使用に耐え得る堅牢さがあるか。

⑥環境やアレルギーに対して配慮されているか。

③字体の視認性の高さ、色覚の特性への配慮などについては、専門家による指導のもと徹底しています。

④分冊・合冊の構成を工夫したり、軽量で丈夫な用紙を採用したりして、児童の身体的な負担を軽減できるよう配慮しています。

⑤印刷は鮮明で、色彩は目に優しい中間色を基調にしています。また、製本は長期間の使用にも十分耐え得る丈夫なものにしています。

⑥印刷・造本において、環境やアレルギーなどにも配慮しています。

●字体は、弊社で新開発したUD教科書体を採用しました。このUD教科書体は、従来の教科書体に比べてさらに太く、視認性をいっそう向上させたものです。開発にあたっては、慶応義塾大学中野泰志先生の指導のもと、**弱視の児童や弱視の児童を指導する先生方へのアンケート調査結果を重視**しました。

●重量による児童の身体的な負担への配慮、学習指導要領の4つの能力育成段階（幼児期・小1／小2・3／小4・5／小6・中1）をもとに、**6学年のみの合冊構成**としました。

●**全学年で専用の軽量で丈夫な用紙を採用**して、教科書のページ増に伴う重量増をできるだけ抑えるように配慮しました。

●色彩は、目に優しい中間色を基調にしつつ、使用する色数を抑えながら、鮮明でメリハリのあるデザインとしました。

●表紙は、特殊な加工（ビニールコーティング）を施し、汚損しにくいように加工しました。また、裏表紙の氏名記入欄は、コーティングの上さらにインキをのせて鉛筆でも書けるようにしました。

●綴じ込み教材には、適度な厚みのある用紙や透過性のある用紙を採用して、児童の操作のしやすさに配慮しました。

●製本は特殊な糊付けを施し、**きわめて堅牢**です。

●環境に優しい**再生紙**や化学物質をおさえた**植物油インキ**を使用するなど、**環境やシックススクールなどに配慮**しました。

●1年②以降の各巻の製本では針金を用いず省資源化に努めるとともに、リサイクル時に紙から取り除きやすいリサイクル適性に優れた糊を使用しました。

●関連する内容の単元をできるだけ同時期に配置して、**複式の年間指導計画が立やす**いように配慮しました。

●**3年「かけ算の筆算」と4年「わり算の筆算」、5年「小数のかけ算」と6年「分数のかけ算」**ほか（詳細は、東京書籍HPに掲載する「年間指導計画（複式）」をご覧ください。）

●2学年以上の各巻の巻末に「**ふりかえりコーナー**」を設け、前学年までの内容を児童が自力で振り返ることができるようにしました。**複式指導の「わたり」の際に有効に活用**することができます。

●単元末「たしかめよう」側柱の区切り線に「**▶**」を付し、15分間使用の場合の区切りの目安を示しました。これにより、例えば単元末「たしかめよう」を15分×2コマ、「つないでいこう 算数の目」を15分×1コマ（計1単元時間45分）に3分割して**短時間学習で使用するなど、弾力的な時間割編成に対応**できるようしました。

●単元導入の「**単元プロローグ**」の多くは、指導の目安時間として10～15分間程度を想定しています。**短時間学習を活用して単元プロローグを扱うことが可能**です。

●コラム「**ますりん通信**」を短時間学習に活用し、**内容について考えたり対話をしたりするなどの活動をする**ことが可能です。

●巻末「**ほじゅうのもんだい**」に短時間学習を活用して取り組み、**基礎的・基本的な知識や技能の定着をはかる**ことが可能です。

●巻末「**おもしろ問題にチャレンジ**」に短時間学習を活用して取り組み、**数学の世界で学習を広げたり、深めたり**することが可能です。

●算数科の学習は、多くの教科の学習や総合的な学習の時間に密接に関連し役立つものです。その中でも、**特に他教科との関連が強い単元や教材については⑤を付して関連を明示し、教科横断的、合科的なカリキュラム編成の参考とすることができるよう**にしました。

●**3下23（理科）／4上13（英語）、21（理科）／5上18（英語）／6年234（英語）**ほか

●本文では、作物の収穫高、気温の変化、ソース作り、短距離走、外国の数の読み方といった、社会科や理科、生活科、家庭科、体育（保健）、外国語など**他教科との関連を考慮した教科横断的な教材を多数取り上げ**ました。算数の学習内容の価値が児童に伝わり意欲的に学習に取り組めるようにするとともに、相互に理解が深められるように効果的・効率的に学習が進められるようにしました。

●1年①3～15、36～37／2上95／3下90～102／4上20～33／5下34～35／6年234 ほか

●伝統文化や国際理解、防災・減災、安全教育、環境教育などに関する教材や話題を取り上げ、**総合的な学習においても展開**できるように配慮しました。

●**3下107／4上13、下122～123／5上122～123、下126～127／6年90～91、232-237** ほか

●4学年以上に「**算数で読みどころ**」を設け、実際のデータを数学的に読解・解釈したり考察し判断したりするなどの活動を取り入れました。**テーマは、現代的な教育課題を中心に設定し、これらの学習を通して、現代的な教育課題への対応を図ることができるよう工夫**しました。

●**4上134～135（給食の残食に着目した生活改善）、下122～123（防災・減災意識の向上）／5上122～123（訪日外国人の来日の様子をもとにした自国、国際理解の深化）、下126～127（日本の国土利用の分析）／6年90～91（オリンピック・パラリンピック記録の数学的分析）、196～197（情報通信技術の利用の様子や実態の分析）**

●**キャリア教育**との関連を積極的にはかりました。具体的には、集団の中で役割を果たしたり自覚したりすることとが重要な活動を意図的に取り上げたり、多様な職業や生き方にふれる場面を採用したり、職業に就くことを想定して思考・判断する問題を取り上げたりしました。

●**1年②29、47／2上49／3上28～30／4上74、119／5下84～85、92／6年164～165、196～197** ほか

## 7 今日的課題への取り組み

①指導経験の浅い教師の使いやすいように配慮しているか。

①丁寧な学習展開や数学的な見方・考え方の可視化、めあてやまとめの明示の徹底など、指導の文脈を分かりやすく表し、指導経験の浅い教師を支援できるよう配慮しています。また、教師用指導書、指導者用デジタル教科書（教材）の発行などにより、効果的、効率的な指導を支援します。

②複式指導にも対応できるように配慮されているか。

②発達段階に応じて、異学年の関連する内容の単元をできるだけ同時期に配置したり、前学年の内容を振り返ることのできる「ふりかえりコーナー」を設けたりして、複式指導にも対応できるように配慮しています。

③カリキュラムマネジメントの視点から、短時間学習の活用に対応できるように工夫されているか。

③15分単位での教科書の活用も見据えて単元導入や単元末、巻末を構成したり、算数に関連の話題にふれることができて素材を掲載したりするなどの工夫をしています。

④カリキュラムマネジメントの視点から、他教科及び総合的な学習の指導と関連を図ることができるよう工夫されているか。

④他教科との関連が特に強い単元や教材にはマークを付して強調し、教科横断的、合科的なカリキュラム編成に役立つように配慮しています。

⑤現代的な教育課題への対応について工夫がなされているか。

⑤さまざまな教育課題に関連する教材を開発し積極的に取り上げ、現代的な教育課題への対応を図ることができるよう工夫しています。

